

2026

No.111

山本左近 NEWS

令和8年 8月 28日 発行所：山本左近政策研究会

〒440-0806愛知県豊橋市八町通1丁目14-1 Tel. 0532-21-7008 Fax. 0532-21-7003

111号

学生フォーミュラ大会に見
た日本のものづくりの未来

H.P. YouTube Twitter Facebook Instagram

化と社会実装を訴えてきました。

カーボンニュートラルへの道は、EV化だけではありません。燃料そのものを転換できれば、内燃機関の技術と、それを支える部品産業の雇用を次の時代へつなげられます。愛知と東三河には、その厚い産業基盤があります。

EVがエンジンかの二者択一ではなく、世界で競争できる選択肢を持つ続けること。そして、若い技術者が夢を持って挑戦できる産業を次の世代へ残すこと。それが、私たちの世代の責任だと考えています。

《ものづくりは、人づくり》

一台の車が走り出すまでには、数え切れない失敗と、それを乗り越えた時間があります。

思い通りにいかないから考える。壊れるから原因を探す。自分一人ではできないから、仲間と力を合わせる。学生たちの真剣な表情に、日本のものづくりの底力を見ました。その力をつなぐために必要なのは、技術への支援だけではありません。

若い世代が失敗を恐れず、本気で挑戦できる「場」をつくることです。

ものづくりは、人づくり。日本の未来を担う若い世代の挑戦を、これからも全力で応援してまいります。

衆議院議員

山本左近



やまもと・さくら



愛知県豊橋市出身。1982年7月9日生まれ。44歳。豊橋南高校卒業、南山大学。11歳、レーシングキャリアスタート。19歳、単身渡欧24歳、当時日本人最年少F1ドライバードビュー。30歳、帰国後、医療介護福祉の世界に。医療法人・社会福祉法人さわらびグループの統括本部長就任。2019年第25回参議院議員通常選挙（比例代表）に自民党公認で立候補し、落選。2021年第49回衆議院議員総選挙（東海ブロック比例代表）に自民党公認で立候補し初当選。当選直後から、合成燃料の国産化の必要性を訴え、3年以内に日本初の実証プラントの稼働を実現した。また、2022年8月、初当選後一年に満たない中、文部科学大臣政務官 兼 復興大臣政務官に異例の抜擢。科学技術・文化の担務を中心に活躍。2024年第50回衆議院議員総選挙にて落選。2026年第51回衆議院議員総選挙にて2期目の当選。英語スペイン語を話すマルチリンガル。

ネパールで発生した大規模な洪水・土石流により、多くの尊い命が失われ、甚大な被害が生じていることに、深い悲しみを覚えています。犠牲となられた方々に心より哀悼の意を表するとともに、ご遺族の皆様、被災されたすべての方々に心よりお見舞い申し上げます。安否が確認されていない邦人の方々をはじめ、すべての行方不明者の一刻も早い救出を願っています。そして被災された地域に一日も早く平穏な日々が戻ることを、心よりお祈り申し上げます。

学生フォーミュラは **速さ** だけじゃない!

学生たちが一台の車を
企画・設計・製作し、その総合力を競う大会
大会の基本的な審査体系

静的審査 (走らない審査)

構想力・説明力・コスト感覚などを評価



デザイン審査

車両の設計思想や技術的工夫、安全性・信頼性・独創性などを評価

配点比率
約33%



コスト審査

部品点数や製造方法、原価計算の妥当性、コストダウンの工夫などを評価

配点比率
約33%



プレゼンテーション審査

事業としての成立性や市場性、将来の展望などをプレゼンテーション

配点比率
約33%

静的審査の配点比率は 合計約100%

企画・設計・製作・走行・
プレゼンまで、すべて学生が挑戦!



静的審査と動的審査の総合得点で順位が決定。
速さだけでなく、ものづくりの総合力が問われます。

【ご留意】
大会の基本的な審査体系を示したものであり、
年によって実施内容や配点変更される場合があります。
2026年のEVクラスは、スケジュールの都合により
エンデュランスと効率審査は実施されませんでした。
(大会ごとの詳細は公式ルールをご確認ください)

動的審査 (走る審査)

走行性能や信頼性などを評価



アクセラレーション

直線加速性能を競う
【75mの加速タイム】

配点比率
約10%



スキッドパッド

定常円旋回性能を競う
【旋回半径・ラップタイム】

配点比率
約10%



オートクロス

設定コースの一周タイムを競う
【俊敏性・ハンドリング性能】

配点比率
約15%



エンデュランス

長時間の周回走行で信頼性・耐久性と
燃費 (効率) を総合評価

配点比率
約65%

動的審査の配点比率は 合計約100%

支え合い、学び合う 現場が未来をつくる

多くの企業・技術者の支援を受けながら、
学生たちは仲間とともに挑戦を続けています。
この経験が、未来の日本のものづくりを
支える力になります。



ピットでの真剣な作業



学生との対話



学生たちがつくり上げた1台

未来のエンジニアたちへ

挑戦の先にあるのは、技術だけでなく、
人を動かす力、考え抜く力、やり抜く力。
学生フォーミュラは、
そのすべてを育てる場です。

日本のものづくりの未来は、
ここから始まっています。



市内各所で街頭演説を行っています。
車からたくさんの方に手を
振って応援いただき、あり
がとうございました!
国内外で自然災害が相次い
でいます。被災された皆様
に心よりお見舞い申し上げ
ます。



市民福祉の日の記念式典・い
きいきフェスタ2026に参加
しました。式典では自分自身
の原点に触れながら「福祉と
は? 多様性の価値とは」など
お話しさせていただきました。
また福祉体験では手話や視覚
障害者体験など様々参加。自
分の原点を振り返る1日とな
りました。



令和9年度予算の概算要求に
向けた議論が大詰めを迎えま
した。「新たな成長投資枠」
を設け大胆に投資していく方
針です。私が大切にしたいの
は、東三河の強みを生かし、
日本の成長に繋げることに
なっています。皆様からいただ
いた現場のお声を反映させて
いきます。



24日から3日間、APPU (ア
ジア太平洋国会議員連合) 第
54回総会が東京で開催されま
した。APPUは、台湾が正式な
メンバーとして参加する数少
ない国際的な会議で計13の
国々が参加。日本団を代表し
決議案についても発言。
中国が影響力を強める中、議
員外交を通じ、アジア太平洋
及び日本の平和と繁栄の実現
につなげてまいります。

JAPAN as No.1 Again!

日本を再び世界一の国へ